

2021年度「気鋭の会」スローガン

進 化

気鋭通信

Vol. 32

気鋭の会
広報拡大委員会
発行

通常会員総会

〔総務委員会〕

4月22日(木)

通常会員総会を伊東商工会議所で開催しました。

染矢耕一郎会長が今年度のスローガン「進化」を掲げ、青年部活動を通じ、「切磋琢磨し、共に高めあう活動を展開しよう」と想いを伝えました。会長交代式が執り行われ、佐々木伸一直前会長から染矢新会長へバッジが引継がれました。総会終了後の懇親会は開催せず散会となりました。



第4期

伊東子どもビジネス体験塾 BIP (ビップ)

〔育成委員会〕

BIP (Business Itoprocess) は、次世代の起業家を育成するために、「自分たちの力で作り上げる起業体験」の場を小学生に提供する事業です。

小学5、6年生が5人1組のチームを作り、自分たちだけで商品やサービスを考え、実践販売、決算報告まで行うプロジェクトで、商売の達成感や楽しさ、難しさを実際に体験します。

6月20日(日)

第1回セミナーを開催しました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症により、中止したため、1年ぶり待望の開催となりました。

今年度のBIPに参加するチームは、3チーム(総勢15名)です。

①Sii (池小5、6年生チーム)

②ウエルカムスター (西小6年生チーム)

③HIGH START (西小6年生チーム)

参加者は「ものを作ったり、売ったりする体験は面白そう。自分の考えを発言していきたい」「将来の夢に向けていろいろな体験したい」と意気込みを話してくれました。

青年部「気鋭の会」
H20. 7. 15 設立
会員数 53名
(R3. 8. 1現在)

「気鋭の会」とは・・・伊東市内の20代から40代までの若手経営者・後継者が「経済人としての資質向上」を図り、「企業と地域経済の健全な発展」及び「商工会議所活動の一翼を担う」という趣旨のもとに集い設立されました。研修会等を通じ経営について研鑽を積んでいます。

会員募集中!
あなたも『気鋭の会』で共に経営を学びませんか!
入会金は不要です。
年会費 24,000円
※年度途中に入会した場合は月割になります

ホームページ・フェイスブック開設しています。
伊東商工会議所青年部・気鋭の会
で検索下さい。
<http://www.ito-cci.or.jp/seinenbu/>

お問合せ
伊東商工会議所 青年部
「気鋭の会」事務局
Tel.0557-37-2500
(担当:篠崎・鶴田)



ボードゲームで楽しく起業を学ぶ参加者

セミナーでは、当会会員の渡辺啓太君(HappyLife株式会社代表取締役)が講師となり、起業について自身の経験や思いなどを話しました。

また、第1期BIP経験者で高校1年生となった原和希君と太田宇玖也君、杉本優太君が体験談や起業に向けた活動に至る思いを話してくれました。

後半は、起業体験カードゲーム「ゴドモ社長VSオトナ社長」を行い、起業全体の流れや会社経営に大切なことなどを楽しみながら学びました。

その後、各チームに分かれて会社名の検討や役職をどうするかディスカッションしました。

意見交換会

〔政策提言委員会〕

5月6日(木)
 政策提言活動の一環として、伊東市役所で市担当課と意見交換会を開催しました。

「気鋭の会」は、毎年伊東市に政策提言書を提出しています。
 今年度は、「若者の職」をメインテーマに掲げ、委員会が考えている政策や実情についての意見交換を行いました。
 官民それぞれの立場からの考えを共有することができ、伊東市の課題解決のための政策提言書作成へ向けて大きな一歩となりました。



意見交換会の様子

三団体異業種交流会 〔地域V字回復委員会〕

5月25日(火)
 伊東青年会議所と静岡県中小企業家同友会伊東支部、「気鋭の会」の市内三団体による異業種交流会が開催され、50名余りが参加しました。
 当初は、対面による交流会を予定しておりましたが、県の新型コロナ警戒

レベルの引き上げにより、急遽、オンライン開催となりました。
 「コロナの中、先を見据えて、今、取り組んでいる事とは？」をテーマとして、まず各団体から現状や自社が取り組んでいることの報告をいただきました。

一般社団法人伊東青年会議所の報告者
 (株)信海 中嶋信裕氏
 (飲食店経営・小売業)

静岡県中小企業家同友会
 伊東支部の報告者
 (有)三浦水産 三浦大輔氏
 (海鮮卸業)

「気鋭の会」の報告者
 ごはん酒菜 そのに 太田真矢氏
 (飲食店経営)

各団体(発表者)が、コロナで厳しい状況下試行錯誤されながら前進していることに刺激を受けました。



当会の代表として報告する太田真矢君(そのに代表)

新入会員交流事業

〔政策提言委員会〕

その後、グループに分かれ、テーマに沿ってディスカッションし、各グループの代表者が内容を発表しました。
 この異業種交流会が、コロナ禍を乗り越えるための良いヒントになったと思います。

6月22日(火)

新入会員交流事業を商工会議所で開催しました。
 本年度は6月までに、3名が入会しました。冒頭、自己紹介と事業所PRをしました。
 交流会では、政策提言事業を体験してもらおうため、「統廃合後の学校施設の有効活用」をテーマとし、グループワークを行いました。
 政策提言事業は、伊東市の経済や生活をよりよくするため、テーマを選定し、研究、議論を重ね、行政に対して提言していきます。
 グループワークでは、5グループに分かれ、交流を兼ねたブレインストーミング方式を取り入れ議論を交わしました。



新入会員交流事業の様子